



交小だより

令和2年10月1日発行
交野が原学園
交野市立交野小学校
校長 高峯 育

【交野が原学園のめざす子ども像】 ☆豊かな人権感覚を持ち、自他ともに大切に
☆自ら学び、よく考え、粘り強く実行する子 ☆活力を持ち、たくましい心や身体をもった子
【学校教育目標】ともに高めあえる、人間性豊かな子どもの育成



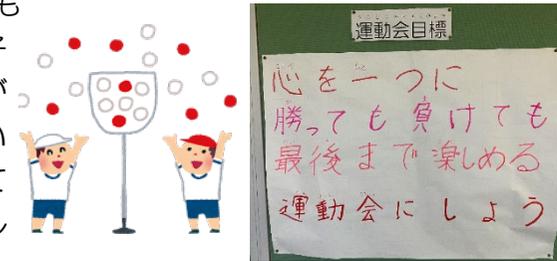
みんなで活動できる喜びを感じて～第135回運動会～

最近、朝晩が寒いくらいで、季節が着実に秋に向かっていくことを感じます。夏季休業明けは、記録的な猛暑が続き、外で遊ぶのも危険なほどでした。そのため、暑さ指数を基準に体育の授業や休み時間の外遊びを制限していました。

9月になってからは外で遊べる日も増えて、「今日は外で遊べます」と放送がかかると、「やったー！」と校内のあちこちから歓声があがるほどでした。今年はそれだけでなく外で遊べる日が少なかったこともあり、余計に外で遊びたい気持ちが強かったのだと思います。

10月3日(土)は運動会です。今年は、新型コロナウイルス感染防止のために、密を避けた競技に変更したり、配置を工夫したり、飛沫を考えて声を出すようにしたりと配慮して練習にとりくんできました。例年とは違った形での運動会になりますが、どの子にとってもその学年で経験するたった1回の運動会です。みんなで工夫して思い出に残る運動会をつくっていかれたらと思います。

今年の運動会の目標は、「心を一つに 勝っても負けても最後まで楽しめる運動会にしよう」です。交野小学校の子どもも大人も全員が、みんなで活動できる喜びを感じながら、心を一つにがんばります。大きな声での応援をお願いするわけにはいきませんが、心の中で温かい応援を送っていただければと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。



保護者のみなさまへお願い

今年の運動会は、子どもたちにとって貴重な行事となります。みんなが気持ちよく参加できるようご協力をお願いします。

- ①保護者証の着用をお願いします。原則、1家庭2名までの入校をお願いします。
- ②「感染症対策チェックシート」に体温・参加者等を記入の上、お子様の健康観察カードにはさんでご提出ください。
- ③熱が37.5度以上ある方、体調不良の方は、来校をご遠慮ください。
- ④学校敷地内では、マスクを着用ください。
- ⑤保護者同士の距離をとり、譲り合ってご観覧ください。

タブレットが導入されました

5・6年生の児童全員に交野市教育委員会からタブレット(iPad)が貸与されました。1人1台配付された子どもたちは、新品のタブレットを前に、大きなワクワクと少しの緊張が入り混じったような表情でした。様子を見てみると、ほとんどの子が慣れた手つきで操作していました。

タブレット導入の目的は、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない学びの実現」です。導入によって、個別の課題に応じた取り組みがしやすくなる他、コミュニケーションが苦手な子どももタブレットを通じて交流をしたり、密を避けて交流したりすることが可能になります。また、主体的な学びがより進むことが期待できます。

今後、他の学年にも順次貸し出されます。ルールを守って、大切に使ってほしいと思います。私たち教職員も、より効果的な活用ができるよう研修を深めてまいります。



10月の行事予定

- 10月 2日(金) 運動会前日準備
- 3日(土) 運動会
- 5日(月) 後期時間割開始
- 7日(水) 運動会予備日
- 9日(金) 委員会
- 16日(金) 6時間授業※
- 23日(金) クラブ
- 25日(日)～26日(月) 6年修学旅行
- 27日(火) 6年代休、5年非行防止教室
- 28日(水) 創立135周年記念写真撮影
- 30日(金) 6時間授業※



11月の行事予定

- 11月 2日(月) 5年校外学習
冬タイム開始(16時完全下校)
- 6日(金) 委員会
- 11日(水) 交野が原学園支援学級交流会
- 12日(木) 6年筆体験
- 13日(金) 6年筆体験、6時間授業※
- 19日(木) 教員研修のため午前中授業
(13時10分ごろ下校)
- 20日(金) クラブ
- 21日(土) 土曜授業
- 24日(火) 6年薬物乱用防止教室
- 27日(金) 6時間授業※

※金曜日の6時間授業は、クラブ・委員会を
せずに下校します。

12月 3日(木)～9日(水) 個人懇談
☆予定は変更になることがあります。

一つの言葉

一つの言葉でけんかして 一つの言葉で仲直り
 一つの言葉で頭が下がり 一つの言葉で心が痛む
 一つの言葉で楽しく笑い 一つの言葉で泣かされる
 一つの言葉はそれぞれに 一つの心を持っている
 きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心
 一つの言葉を大切に 一つの言葉を美しく



これは、作者不詳の詩です。子どもたちと関わる中でこの詩を思い出したので紹介します。たった一つの言葉で、人を救うこともできるし、人を傷つけることもできます。きれいな言葉、優しい言葉を使うよう心掛けたいです。